

共通意識持ち対策推進

草別組と草友会 安全大会



日、岩内地方文化センターで労働安全衛生大会を開催した。同社や協力会社の役員ら約150人が参加し、

【小樽発】(株)草別組(岩内、小松知史社長)と草友

会(佐藤一会長)は5月29

日、小松社長写真は、従

事者全員が共通意識を持つて安全対策に取り組むことの重要性を強調し「コミュニケーションを図り、何が危険いか、どこに危険があるのか、互いに声をかけ合い、アイデアを出し合って危険の芽を取り除いてもらいたい」と訴えた。また「現場での安全衛生に対する意識や取組を再認識し、KY活動、リスクアセスメントなど安全衛生活動を充実・強化していく」と言及した。

佐藤会長は「草友会として、ことし1年の無事故・無災害を目指し様々な施策

を考え取り組んでいく」と述べた。

大会では、積極的に安全衛生活動に取り組んだ優良協力業者の(株)森重機工業と(株)マルヨシ工業を表彰したほか、特別表彰として緊急工事に対して尽力した3社を表彰し功績をたたえた。

また、岩内警察署の北垣孝署長があいさつしたあと、南祐希交通課長、小樽労基署俱知安支署の嵯峨宏之支署長が講話。参加者は、交通事故・労災防止対策について理解を深めた。

続いて、建築部の鈴木雄基氏が「熱中症の知識を再認識してもらう安全教育訓練の見直しを行うことで、熱中症による労働災害の絶滅につながる」と労働災害防止のための提言、川畑拓也氏が安全決議宣言し「安全・安心な建設作業の確立と地域社会の発展に貢献する」と誓った。